

はっぴい

第 71 号

編集・発行
白山高等学校PTA

印刷
伊藤印刷株式会社

2021. 3

御 礼



PTA会長 石本 あけみ

春寒次第に緩み、一雨ごとに春の息吹が立ち込めて参りました。

今年度は、新型コロナウイルスの影響により生活が一変し、制限と不安を目の当たりにする日々となりました。部活動で汗を流し他校のライバルたちと戦い切磋琢磨することも友人や先生と教室で何気ない話をすることも失われ、マスクや手指の消毒が欠かせない日常に不安と悔しさの一年だったと思います。

そんな中で、自分の人生を左右する卒業後の進路を決断することは大変だったと思います。自分の希望が叶わずに涙することもあったでしょう。でも、その度に自分のことのように正面から受け止めて、ともに悩み考え、そして助けてくれた家族、友人、先生がいてくれたはず。そんな思いも含めて、いつか、この一年が笑い話になることを願っております。

今年度は、コロナ禍によりPTA会長として挨拶はおろか皆様の前に

顔を出す機会も無かったことを残念にまた申し訳なく感じています。そんな状況ではありましたが、PTA会員の皆様には日頃の活動にご理解、ご協力いただき心より感謝申し上げます。

学校と家庭の連携だけでなく地域

祝 辞



校長 堀 昌 弘

日頃より本校の教育活動及びPTA活動の充実・発展にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

また、この三月一日に卒業式を迎える生徒の保護者の皆様には、これ

社会とも協働していくことで、より子どもたちへの教育活動が深まり、PTA活動も最大限に力を発揮できると考えています。今後もPTA活動が子どもたちの成長を促し見守る上でより良いものに発展することを願っております。

最後になりましたが、白山高校のPTA活動において、多くの方々にお力添えいただき、厚く御礼申し上げます。今後の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたしまして挨拶とごえさせていただきます。

卒業生の皆様、本当におめでとうございます。

までのお子様へのご指導・ご支援に對して敬意を表しますとともに、心からお慶び申し上げます。

さて、二〇二〇年度は昨年度から続く新型コロナウイルス拡散防止の臨時休業から始まりました。入学式

と始業式は五日遅れの四月十三日に開催することができましたが、その二日後から五月末まで臨時休業となりインターネットのリモートによるSHRや遠隔授業になりました。六月の学校再開後も体育祭、文化祭、遠足、修学旅行をはじめとする多くの学校行事の日程や内容が変更や延期になり、保護者の皆様には大変なご心配をおかけいたしました。地域と協働した教育活動においても例年実施している地域企業でのインターシップや地域行事への参加などはコロナ禍により実施することが叶いませんでした。

しかし、多くの生徒はそのような環境においても元気に教育活動に取り組む様子が見られ、校長として嬉しい思いでいっぱいです。特にマナーを守りながらもクラスの団結を示してくれた体育祭と文化祭、インターシップに替えて実施した生徒による地域プロデュース「白山高校が地域を応援します！」などは、これらの白山高校生徒の可能性を感じさせてくれるものでした。

これからの変化の激しい時代においては、自身の良さと可能性を認識し、失敗を恐れず挑戦し、他者との協働を通して困難な課題を乗り越えていくことが求められます。今年度

の経験はそのための確かな力になると確信いたします。

卒業生は今後、その力を發揮して、自己実現を果たすとともに、社会に貢献し、地域を活性化させる担い手の一人になってくれることを期待します。在校生もその姿を追ってくださるようお願いいたします。

卒業生の保護者の皆様におかれましては、今後ともお子様の成長を温かく見守り続けていただきますとともに、本校の教育活動に引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。お祝いの言葉といたします。



地域課題解決型キャリア教育

(PBL)について

本校は、高等学校として津市で唯一のコミュニティスクールで、「地域を愛する若者を育成し、地域の活性化に貢献する学校」を「目指す学校像」として掲げています。社会に貢献し、地域を活性化させる担い手の一人になってくれることを願い、地域と連携しながらさまざまな教育活動を推進してきました。

昨年度より三重県の事業である「地域課題解決型キャリア教育(PBL)」の指定を受けています。通称PBLと呼ばれていますが、PBLとはProblem Based Learningの略称で、現実的な問題解決やプロジェクト達成を通して学びを深める学習法のことを表します。講義形式だけでなく、学んだ知識やスキルを使って小グループ(四、五名)でのプロジェクト活動を中心に進めています。グループで地域の課題やその解決方法などについて意見共有することで、多様な視点に触れることができるのと同時に、共通の目標に向かって協力することができるのもこのPBLによる活動目的の一つです。

本校は以前から、キャリア教育に取り組むなかでインターシップを実施してきましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見合わせ、代わりにインターシップとPBLを融合させることでキャリア教育のさらなる充実に繋げようと新しい取組を企画・実践しました。地域課題解決型学習の全体のテーマを「白山高生が地域を盛り上げます」とし、高校生の力で地域を元気にするための探究活動に取り組みました。

(二年生)

二年生は、今年初めての試みとして、普段お世話になっている地域の事業所を訪問して取材をしました。地域に恩返しすることが目的で、事業所の方々にインタビューした内容を基に、生徒が工夫を凝らしてお店紹介のPR動画やリーフレットを作成しました。また完成したPR動画は、二学年全体による予選会や全学年と関係各所の皆さまをお招きして



2年生成果発表会

の最終成果発表会で上映させていただき、リーフレットはお世話になった事業所にお届けしました。

【三年生】

「総合的な探究の時間」という授業の一貫で、三年生六名が名松線の活性化を目的とした活動に取り組みました。静岡県の浜松学芸高等学校・社会科学部との協働プロジェクト「名松線勝手に応援団」を発足させ、名松線のPRポスターを制作しました。撮影活動では、生徒がカメラマンやモデルをつとめ、自分たちの気に入った風景を撮影しました。それぞれの作品につけるキャッチコピーも、生徒がアイデアを出し合い、高校生だけでなく年配の方でも昔を懐かしむような、みんなが「キュン」となるような文章を考えました。

「白山高生が名松線を盛り上げます」を作成しました。ポスターと併せて近隣の小・中学校や地域の行政機関に配布させていただきました。作成したポスターと名松線のPR動画は、本校のホームページで公開しており、今後も随時更新予定です。末永く名松線を残していきたいと思う気持ち大切に、高校生がやっているからこそ響くものがある」と信じて今後も白山高生による名松線PRを継続していきたいと考えています。



3学年より

ご卒業おめでとうございます。
三年前の四月、生徒たちは様々な思いを抱きながら本校へ入学しました。

部活動で自己実現のために汗をかいたり、学び直しや資格取得に向けて努力したり、体育祭や文化祭といった学校行事でクラス単位や有志で協力し合ったりと、皆がそれぞれに努力を重ねた三年間だったと思います。

その過程では、人間関係で悩んだこともあったのではないのでしょうか。多感な時期を過ごす生徒たちにとって、友人の言葉一つ、仕草一つが大きな悩みとなることもあったと思います。保護者の方々にもご心配をおかけしたと思います。しかし、友人と会話を重ね、ご家庭で励ましていただき、一つ一つ困難を乗り越える力を生徒たちは付けてくれたと思います。

最初は教員との距離感をつかめず、自分を上手に表現できない生徒もいました。三年という歳月の中で、少しずつ成長を重ね、日々の授業をはじめ、クラブ活動や学校行事を通して、生き生きとした姿を見せてくれ

るようになりました。

白山高校に入学してよかったと思う瞬間がこの三年間の中にあつたらば何よりです。

生徒たちはこれから本校を旅立ち、新たな世界で活躍していくことになります。決して平坦な道のりではないかもしれませんが、本校で過ごした三年間が助力になることを祈っています。

最後になりますが、改めて保護者の皆さまにはこの三年間、ご支援ご協力いただき本当にありがとうございます。

生徒会より

今年度、新型コロナウイルスによる休校もあり生徒会では、なかなか生徒会行事を行うことができず、さみしい一学期でした。しかし二学期からは感染防止対策を取りながら、体育祭、文化祭を行うことができました。

体育祭では、各クラス、個性あふれる素敵なクラス旗を作りました。そして密にならない見学や応援を心がけ、各クラス一生懸命、競技に取り組むことができました。とくに、今

年初めて取り入れたラグビーボールドリブルレーでは、男子も女子も慣れないラグビーボールの扱いに困りながらも、楽しく競技しました。大縄跳び、クラス対抗リレー、綱引きなど、どの競技もクラス一丸となって取り組んでいました。笑顔あふれる体育祭になったと思います。

文化祭では、生徒達が楽しみにしている模擬店ができず残念な一面もありましたが、各クラス、各クラブができることを考え、舞台発表や武道場での展示という形での取り組みとなりました。午前中はクラスや文化部の舞台発表、午後は映画鑑賞を行い、楽しい一日を過ごすことができました。

今までと違った一年ではありますが、生徒会役員は今できる活動を考え、家城駅にはプランターに花を植えて置かせてもらったり、毎朝、一志駅、家城駅でのゴミ拾い、挨拶運動などを行い、頑張っています。

国語科より

十二月十三日に開催予定だった「第七回高校生ビブリオバトル三重決戦二〇二〇」が新型コロナウイルス

で感染拡大防止のため中止となりました。

「ビブリオバトル」とは、発表者が読んで面白いと感じた本の書評を発表し、会場の人が「どの本が一番読みたくなったか」を競うイベントです。

三重県教育委員会では、今大会への出場を予定していた生徒達がお気に入りの書籍を紹介する動画の配信を始めています。

本校からバトラーとして出場予定だった三年三組のマリック石井（石井海斗）さんも、お気に入りの本



『チーズはどこへ消えた?』
著者/スパンサー・ジョンソン
翻訳者/門田 美鈴
出版社/扶桑社
県立白山高等学校
マリック 石井

『チーズはどこへ消えた?』を五分間紹介していますので、県ホームページのインターネット放送局をご覧ください。

また、「第六十六回青少年読書感想文三重県コンクール」においては、三年の磯和慶太さんと石井海斗さんの二人が地区の表彰を受けることができました。

生徒たちの基礎学力や感性をさらに伸ばせるよう、国語科としても様々な場面で支えていきたいと考えています。

野球部より

卒業生、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

今年度卒業生の野球部の皆さんは、一昨年度の甲子園初出場の際、一年生として在籍し、高校野球を華々しくスタートした学年です。先輩達の活躍を間近で見、実際に甲子園での応援、サポートを経験し、今度は「自分たちの手で甲子園出場!そして一勝!」を目標に、新チームをスタートさせました。秋季大会では、中勢地区三次予選で久居農林に勝利し出場した県大会では、一回戦で三

重高校と対戦し、惜しくも初戦敗退。新チームの弱みを克服しようと、強豪校との練習試合を重ね、秋冬の練習に励みました。その矢先の新型コロナウイルスによる三月からの学校休校、公式戦の一つである春季大会が中止となり、不安を抱えながらの三年生のスタートとなりました。

休校が続くように練習が出来ない中、各自練習に取り組み、夏の大会の開催を願いながら、六、七月にやととチームでの練習、練習試合が出来ないように、グラウンドでチームメイトと共に練習出来ることに喜びを感じました。全国高等学校野球選手権大会の開催中止が決定したときには、一人ひとりの高校野球に懸けてきた想いや、今まで支えてくれた家族や友人、幼い頃から応援してくださった指導者の方々に恩返しが出来なくなってしまうことなど、様々な想いが駆け巡ったことと思います。

しかし、関係者の方々のご尽力で代替大会が行なわれることになり、最後にチーム一丸となって戦える場を頂けたことに感謝して、「一生懸命最後までやり抜こう」と皆の心が一つになったと思います。「今度は自分たちの手で、甲子園!!そして一勝!!」という夢は絶たれてしまいました

今まで応援してくれた全ての方々に恩返しが出来よう一杯頑張ろうという気持ちを胸に、最後の代替大会に向け気持ちをひとつにして戦い、新チーム最高の結果、ベスト8入りを果たすことが出来ました。

二〇二〇年度、部員マネージャー合わせて七十二名。そのうち三年生二十四名。一人ひとりがこの野球部で経験したことをこれからの人生に生かし、さらなる飛躍をして欲しいと願っています。白山高校野球部での三年間を糧に、ここからそれぞれの次のステージに大きく羽ばたいてください。顧問一同、皆さんの今後に幸多きことを祈っています。

最後になりましたが、保護者の皆様、地域の皆様には、これまで野球部の活動にご理解ご協力を賜り、本当にありがとうございました。今後とも、白山高校野球部をよろしくお願いたします。

《令和二年度 公式戦 戦績》
第七十二回秋季東海地区高等学校野球三重県大会 中勢地区予選
(二次予選)

一回戦 白山 7-2 高田
準決勝 白山 16-3 久居農林

決勝 白山 5-8 津商

(二次予選)

準決勝 白山 6-1 久居

決勝 白山 0-1 高田
(三次予選)

代表決定戦 白山 5-4 久居農林
三重県大会

一回戦 白山 0-7 三重
第六十七回春季東海地区高等学校野球三重県大会

〈開催中止〉

二〇二〇年三重県高等学校野球夏季大会
一回戦 白山 7-2 四日市中央工業
二回戦 白山 5-2 久居農林
三回戦 白山 9-2 暁
準々決勝 白山 1-3 津西
〈県ベスト8〉

陸上競技部より

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

入部した三年前が、つい最近のことのように感じます。その中でも皆が最終学年に上がった二〇二〇年のシーズンを振り返ってみると、コロナウイルス感染拡大の影響で、それまでとはまったく違う年になりました。シーズン前半の競技会はすべて中止になり、先が見通せない時期が続きました。精神的にショックを受けていないか心配しましたが、はつき

りとした目標が見えない中でもモチベーションを保ちながら頑張り続けたことに、本当に驚かされました。

そんな中、県総体の代替試合や三重県陸上競技選手権大会、市の大会に加えて、全国高等学校陸上大会二〇二〇（広島県）などの開催が決まり、皆が活躍する場ができました。ほとんどの選手が自己新記録や自己記録に迫る好記録をマークすることができました。

十一月の鈴鹿カーニバルを最後に、三年生は全員引退となりましたが、ひたむきに努力する姿や、競技に対して取り組む姿勢は、後輩たちをしっかり受け継がれています。

部員も一年生をみの四名まで減りましたが、投擲の二人が県大会でW入賞を達成したり、短距離の二人も自己記録を大幅に更新するなど、立て続けに良い結果を継続して出せるようになっていきます。

これらの結果は、三年生の皆が作ってきたチームの雰囲気、保護者の方や応援してくださった先生方・仲間の協力、指導も含め様々な面でサポートをしてくれたOBの存在がなければできなかったことです。

『目標は何のためにあるのか？』・『この目標を達成すると誰がどんな風に喜んでくれるのか？』といった目

的の部分を考え、プラスの言葉を出し、チーム全体が今まで以上に向上していけるよう頑張っていきます。

白山高校陸上競技部は、これからも応援し続けてもらえるようなチームを目指します。

三年生の皆さんも、陸上競技に本気で向き合ったこと、目的・目標を立てそれを達成し続けたことを自信にして、これからも頑張ってください。

三年間本当にありがとうございました。最後になりますが、この三年間、保護者の皆様には陸上競技部の活動にご支援ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

今年度の大会入賞者・県代表選手など

・全国高等学校陸上大会二〇二〇

【十月二十三日（金）～二十五日（日）】

高校男子砲丸投 13位

熊川 依吹（三年一組）

※広島県・エディオンスタジアムにて

・三重県陸上競技選手権大会

【七月二十五日（土）～二十六日（日）】

一般男子砲丸投 6位

奥川 空（三年二組）

☆東海選手権出場権獲得☆

少年男子砲丸投 2位

熊川 依吹（三年一組）

少年B男子砲丸投3位

奥川 翔也（一年三組）

少年B男子砲丸投 4位

伊藤 稜弥（一年三組）

・県高校総体の代替試合

【七月十一日（土）～十二日（日）】

男子砲丸投3位

熊川 依吹（三年一組）

・第一回名張市陸上競技大会

【八月十日（月）】

一般男子400m優勝

中崎正太郎（三年一組）

・第三十六回名張市民陸上競技大会

【八月二十三日（日）】

一般男子1000m 7位

渡邊 来伸（三年一組）

一般男子1000m 10位

鈴木 涼平（三年一組）

一般男子400m 4位

中崎正太郎（三年一組）

卓球部より

日頃から温かい応援を頂きありがとうございます。卓球の試合においても今年度は多くの試合が中止または延期になりました。参加できる試合に限られた中で昨年の十月末に三重県高校新人卓球大会学校対抗の部（団体戦）が開催されました。その試合において朝明高校と対戦し、三勝

心道部より

御卒業おめでとうございます。今日まで、保護者の皆様には本クラブに御理解と御協力をいただき、本当にありがとうございます。この三年生は、チームワークもよく、練習にまじめに取り組む学年でした。しかし、なかなか目に見える成果が出ない学年でもありました。

二敗で一回戦を突破し二回戦に進むことができました。二回戦においては一勝三敗で木本高校に負けてしまいました。久しぶりに団体戦で勝つことができました。今までも個人戦では県大会で勝つことはあったのですが、団体戦ではなかなか勝てなかったのが、部員達の大きな成長を感じました。たった一勝のことですが、毎日の練習が実を結んだ形となり卓球部には大きな一勝になりました。その裏には保護者の方からの支援、卒業生や現在の三年生の部員達の練習の積み上げがあったことはいまでもありません。来年度はまた新たな目標を立て学校生活を大事にしながら、着実に一歩一歩進んでいきたいと思えます。

そんななか、二年時に世古泰暉くんが男子個人の部で県大会優勝を果たし、東海高校弓道選抜大会、全国高校弓道選抜大会に出場し、十二月に群馬県で開催された全国弓道選抜大会では準決勝まで駒を進め、本校弓道部にとって悲願となる全国大会入賞まであと一步というところで涙をのみました。試合後には泣き崩れ、悔しさを隠しきれなかった世古くんが「もう一度、全国大会に出てリベンジをしたい」と言っていたことを



今でも覚えています。この学年にとっても、やっと大きな成果と自信をつかみ、「さあ！これから!!」という矢先のコロナウイルス感染拡大による活動停止、高校総体の中止でした。全国の部活動をしている高校生が失意のなか、本校の弓道部も例外ではなく、目標を見失い気持ちが切れそうになることもありました。それでも最後まで弓道部員として活動し続けたことは顧問としても誇りに思います。

「弓道をしてみたい」、「袴がかっこいい」というような気持ちから、的にあたったときの楽しみを覚え、そして「試合で勝ちたい」、「結果を残したい」という気持ちに変わっていくのを近くで見してきました。

最後に思い描いていたような活動はできませんでしたが、成長した姿は何よりも大きな成果であったとは思っています。本当に三年間お疲れ様でした。また弓道場に遊びに来て下さい。弓道は生涯スポーツです。弓をひきたくなったらいつでも来て下さい。

〈卒業する三年生の主な成績〉

平成三十年度

県高等学校弓道冬季大会

男子団体の部 3位入賞

令和元年度

東海・全国高校弓道選抜大会三重県予選大会決勝

男子個人の部

優勝 世古 泰暉 (三組)

東海高校弓道選抜大会

男子個人の部 出場

世古 泰暉 (三組)

全国高校弓道選抜大会

男子個人の部 出場

世古 泰暉 (三組)

バレーボール部より

三年生四名、二年生三名、一年生二名の合計九名で活動しました。今年度の活動は、コロナ禍の影響もあり、公式戦・練習試合の機会が減り、モチベーションの維持が難しい状況でした。

その中でも、県総体(八月)では、津高校に勝利し初勝利をあげることができました。十一月の高校選手権では、鈴鹿高校と対戦しましたが、中学からの経験者の多い相手チームに圧倒され、悔しい結果となりました。現在、新チームは、男子四名と女子一名で活動しており、人数不足のために練習試合や大会に参加できま

せん。個人の体力・技術の向上に向けて取り組んでいます。

吹奏楽部より

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、満足な演奏活動が出来ないまま推移していきました。

六月の中勢地区高等学校吹奏楽演奏会(フレンドシップコンサート)、七月の野球応援をはじめ、例年出演している地域のイベントも全て中止となってしまいました。次々と目の前の演奏機会が失われていく中、生徒のモチベーションも下がりがちで、毎日の練習に対する虚しさのようなものが漂っていたことも否めません。しかし、夏休み中には十一月開催の本校文化祭に目標を絞り、長い準備期間を掛けて練習に取り組みました。吹奏楽の指導歴が長い校長先生の熱い指導を何度も受け、その結果、少人数ではあるものの満足のいく演奏が出来ました。

当日は部長の軽やかな(?)トークに続き、オープニングはデイズニーアニメの曲「Under the Sea」。その後「キセキ」等のJ-POP、クラシックの「木星」を交え、アンコール含

めて六曲の演奏は、三〇分間があつたという間に感じられました。途中、サプライズ指揮者に校長先生を迎え、部員六名に加えて顧問三名までフル出演した、まさに「総がかり」の演奏は、きつと会場の聴衆全員に届いたものと信じています。

三年生が引退した現在は、人数的にはさらに厳しい状況ですが、来年度はたくさんの新入生が吹奏楽部のは



門を叩いてくれることを期待しつつ、今日も地道に練習を重ねています。

家庭部より

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

今年度家庭部では、皆さんが大好きなお菓子作り等が今までのようにはできませんでした。一学期は、マスク作りや巾着作り、レジンのアクセサリー作りなどを行い、二学期からは少しづつ調理を行いました。文化祭では、例年行っている手作りの製菓販売ができずさみしい思いもしました。そのような中、自分たちの作りたい料理やお菓子を各自で作り、写真を撮り、レシピを紹介するという展示を武道場で行いました。大きな模造紙にわかりやすく材料や作り方を書いていくのは思った以上に大変でしたが、みんな頑張って仕上げることができました。制約の多い中でも、一生懸命楽しく活動できたと思います。

三年生の皆さん、一学期途中まで休校という今までにない学校生活の中、進学、就職に向けて不安も多かったことと思います。しかし、こ



の大変な時期に高校生活を送り、卒業を迎えるあなた達は、この先きつと、柔軟にいろいろなことを考えて様々なことを乗り切ることができると思います。高校生活で学んだことや、出会った友人達を大切に、感謝の気持ちを忘れずに頑張ってください。

時々、家庭部での活動を思いだし、クラブ活動で作ったお菓子やお料理を作ってみてくださいね。

商業部より

例年、商業部は、地域イベントへの参加とワープロ競技会の出場をメインの活動にして、各種検定資格の取得にも励んでいます。活動は週三回放課後の時間に行っています。

今年も、例年参加している、産業教育フェアの即売会、名松線復旧イベント、アサギマダラ鑑賞会、ふれあいフェスタ白山、リバーパーク春秋フェスタなどのイベントが、コロナ禍の影響で、全て中止になりました。このような逆風の中でも、できる

ことを見つけ、二回のワープロ競技会(団体戦)には参加し、検定試験にも頑張ってチャレンジしました。

また、時を見て校内の清掃活動を行ったり、中学生向け学校説明会の運営にも参加させていただきました。

人権サークルより

卒業生、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

人権サークルの今年度卒業生は、二名です。一年生で入部し、さまざまな活動に参加してきました。主に、中

勢地区高校生友の会に参加し、他校の生徒と人権に関する課題について意見交流をしました。他校生徒との交流は、様々なことに目を向ける良い機会となりました。今年は交流会で感じたことを人権啓発の human rights に掲載し、サークルメンバーの想いを校内の生徒、先生方に発信することになりました。このコメントを通して、自分の想いを発信することの大切さを感じてくれたことと思います。

文化祭では、一年次にいじめ防止の巨大壁画、二年次に爪楊枝アート、三年次に「みんなに届け！ハッピーメッセージ」の展示と、「美杉連山のろし太鼓」の皆さんをゲストにお迎えしての太鼓演奏を行いました。それぞれ、人権を守ろうというメッセージを届けることが出来たのではないかと思います。また、新型コロナウイルスによる感染拡大にともなう差別に関しても、学習会を通して差別をなくしていけるという気持ちを持つて行動することの大切さを学びました。

これからの日々の中でも、卒業生の皆さんが、「自分も大切に、まわりの人も大切に…」という想いを持ち続け、自ら差別をなくす行動ができる人になっていくって欲しいと願っています。出会いを大切に。

生徒指導部より

「卒業にむけて」

三年生のみなさん、卒業おめでとうございます。みなさんは高校を卒業したとしてもまだまだ思春期の中。自分がどう見られているのか、悩んだり、信じたり、疑ったり。また家族とぶつかったり友達と喧嘩したり、誤解をしたり…。

そんな時、つらいからといってそこから逃げることは簡単なことかもしれないけれど、逃げると余計に辛くなるものです。一番大切なことは、自分に正直でいること。そして、大切な人ときちんと向き合うことです。卒業という言葉、卒とは「おわる」「おえる」という意味で、業とは「なすべきこと」、「しごと」を意味します。つまり「業を卒（お）える」と。高校という場で、白山高校という場で、「なすべきこと」をなし、それをやり終えること、やり終えたことを指します。

この三年間、頭髮指導や遅刻指導等、「めんどくさい」「うざい」と思っただ人も多かったと思います。しかし、来月からは今までとは、また違う「ルール・マナー」があると思います。そういったことに対してプラスに考

え、応援される人間になってほしいと思って、指導をしてきたつもりです。

保護者やお世話になった人たちへの感謝の気持ちと、これからの自分の人生への覚悟をもって、気を引き締めてこれからも生きていってください。白山高校での「なすべきこと」を卒（お）え、そして次の「なすべきこと」に向き合ってください。

長い人生です。まずは健康第一で、頑張りましょう！また元気な姿を見せに来て下さい。

進路指導部より

ご卒業、おめでとうございます。今日まで保護者の皆様には御理解と御協力いただき、本当にありがとうございます。

特に今年は、コロナウイルスの影響を受けて、長期の休校から新学期がスタートし、就職試験開始時期の一カ月延期など、大きな予定変更に見舞われ、不安な気持ちで過ごした生徒も多かったことと思います。しかし、今年三年生は、日常の取り組みもよく、欠席も少なく、前向きな姿勢を見せてくれました。その

結果、今年も求人が減る中、また進学にもより高いレベルが求められる変更点がある中、例年と変わらぬ結果に落ち着きました。

今年度の三年生一〇二名のうちすでに決定した進路先は次記【表1】の通りです。例年と傾向は変わっていません。就職は、ほとんどの生徒が自宅から通勤できる事業所に内定し、進学は総合型選抜（旧「AO入試」）学校推薦型選抜（旧「指定校推薦」など）によるものがほとんどです。

卒業式を迎えたこの時期は、ある意味で大事なスタート地点だと進路指導部では考えています。社会人として自分の人生を切り拓いていくことを心から願っています。また、進学する人も自分で選んだ道



2020/06/11

【表1】3年生の進路先

<大 学>	○四日市大学	○皇學館大学	○鈴鹿大学	○大阪商業大学	○大阪観光大学
	○愛知産業大学	○名古屋経済大学	○日本福祉大学	○京都精華大学	
<短期大学>	○三重短期大学	○高田短期大学	○愛知文教女子短期大学		
<専門学校等>	○三重調理専門学校	○京都伝統工芸大学校	○京都建築大学校		
	○ユマニテク医療福祉大学校	○大阪リゾート&スポーツ専門学校			
	○伊勢理容美容専門学校	○名古屋医健スポーツ専門学校	○名古屋観光専門学校		
	○パンタンデザイン研究所	○名古屋スクールオブビジネス			
	○総合学園ヒューマンアカデミー	○大原法律公務員専門学校			
<就 職>	○大原簿記医療観光専門学校	○津高等技術学校	○日本福祉教育専門学校		
	○本田技研工業株式会社 鈴鹿製作所	○井村屋株式会社	○佐川急便株式会社		
	○株式会社中尾製作所	○株式会社日本サンガリア ベバレッジカンパニー			
	○マリンフーズ株式会社 三重工場	○黒崎播磨株式会社 名古屋支店			
	○前田歯科クリニック	○株式会社 CHAMPION CORPORATION			
	○合資会社 L・I・T サービス	○株式会社 ミートサプライ	○株式会社 中勢ゴム		
	○三重交通株式会社	○株式会社 ニシタニ	○株式会社 ニチリン白山		
	○丸豊技研株式会社 三重工場	○株式会社 日新 三重工場	○社会福祉法人ベテスタ		
	○株式会社 三和プレス工業所	○デリカ食品株式会社			
	○医療法人 博仁会 (村瀬病院グループ)	○株式会社 シーズプランニング			
	○ニプロファーマ株式会社 伊勢工場	○株式会社 エクセディ 上野事業所			
	○株式会社 葉山電器製作所	○株式会社 タイム	○株式会社 ライジング 明和工場		
	○中部企業 株式会社	○株式会社 住ケン三重	○八昇製菓株式会社		
	○鳥羽ビューホテル有限会社	○株式会社 池戸製作所	○株式会社 ロータス		
	○トヨタ車体株式会社	○ハートランド株式会社	○株式会社 大興		
	○株式会社 ナベル	○株式会社 マルヤス	○河田フェザー株式会社		
	○株式会社 ZTV	○SWS西日本株式会社	○株式会社 天花意字板金		
	○株式会社 サカイ引越センター 中日本本部	○有限会社 ピレネーエキスパート			
	○ダイキョーニシカワ 株式会社	○社会福祉法人 あけあい会	○万協製薬株式会社		
	○長島観光開発株式会社	○久保技工			

を追求していつてくれることを願ってやみません。
ただ、就職してから一年も経たないうちに転職、退職してしまう例も少なくありません。この先悩んだり

苦しんだりしたときは、辞める前に誰かに相談してほしいと思います。進学先や就職先にも見てくれている人は必ずいます。進路指導部も同様です。保護者のみなさまも、本人が

何か苦しんでいる様子がありましたら「白山高校へ行って相談してみれば」と勧めてやってください。
卒業生のみなさんが、自分の能力を十分に発揮するとともに、在校生

生徒ロッカーを新調しました

これまで使用してきた生徒ロッカーが、劣化するとともに、オープンタイプだったので、セキュリティ面からも新調してほしいという強い要望が多くの生徒から毎年上がっていました。

PTA会費の中に、教室のエアコンの更新時用の予算として「教育資金積立」がありますが、今年度よりエアコン整備に関して、県の負担に変更されたこともあり、PTA役員会に相談し、生徒ロッカーについてはこの積金で新調することとしました。

容量ができるだけ広く、教室の後ろに設置できるものを検討するなかで、写真のように、



黒板を囲み、出入口に支障のないサイズにしました。
また、個人負担にはなりませんが、三段番号組み合わせ錠も購入し、生徒個人で、管理できるようにしました。
新年度から、入学時に学年色の鍵を購入して、個々に管理してもらうように進めていきます。

